



遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)を考える日

## 遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）実態調査

# 遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）実態調査

## 【調査概要】

調査方法：WEBアンケート調査

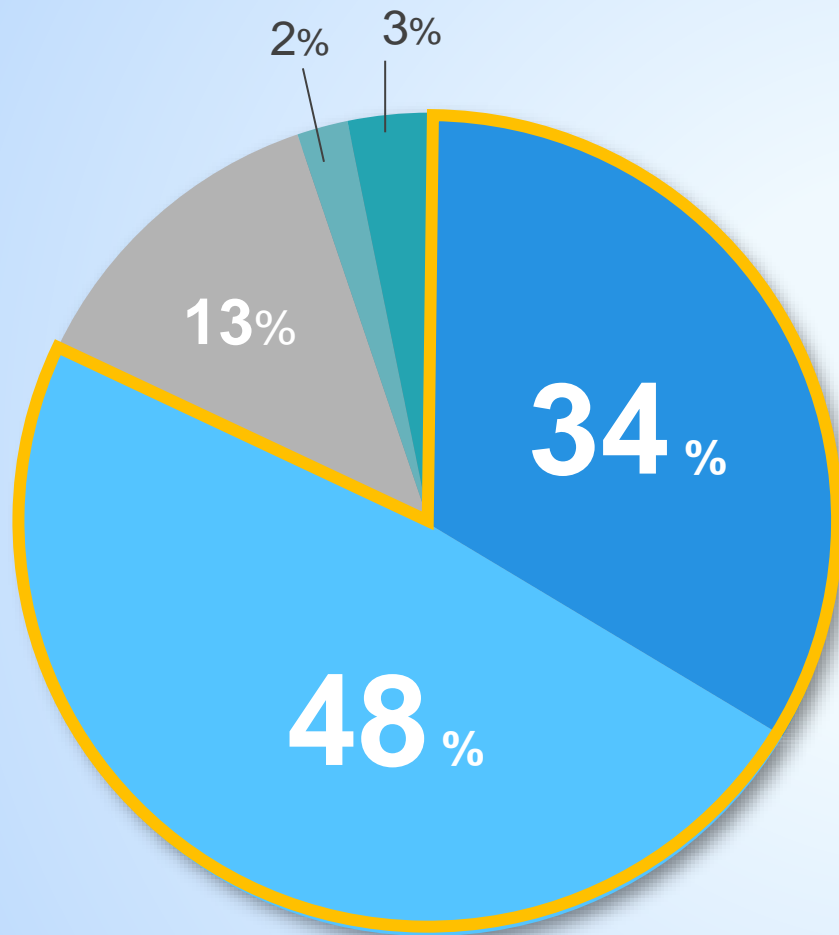
調査期間：2024年10月16日(水)～18日(金)

サンプル回収数：1,000人

調査対象：全国の20～60代女性

（医療・遺伝子関連業務従事者を除く）

## Q2. 乳がんを身近な病気だと思いますか。



全体の8割強が  
身近な病気だと思っている。

■ とてもそう思う

■ ややそう思う

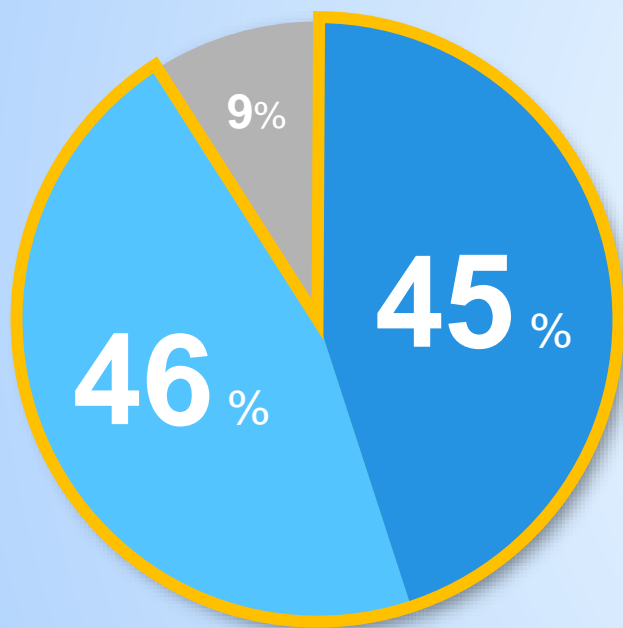
■ どちらとも言えない

■ そう思わない

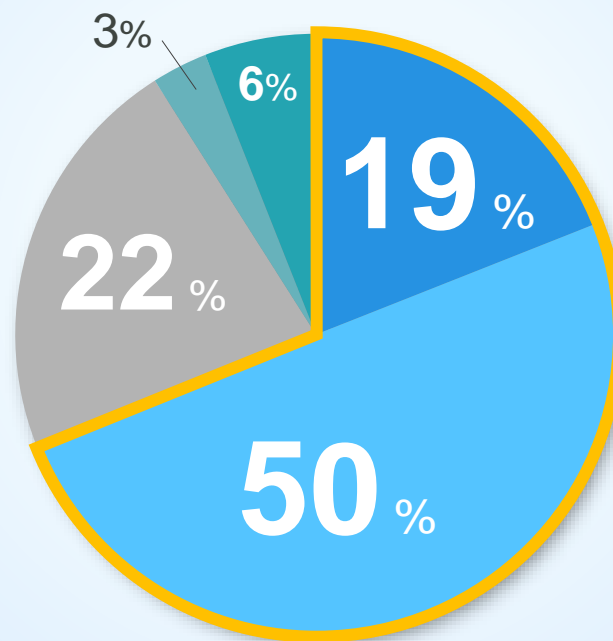
■ まったくそう思わない

## Q2. 乳がんを身近な病気だと思いますか。

家族や近親者に  
がんになった方がいる (40代)



家族や近親者に  
がんになった方がいない (40代)



とくに、家族や近親者に  
がんになった方がいる  
40代の9割強が乳がんを  
身近な病気だと回答。

■ とてもそう思う

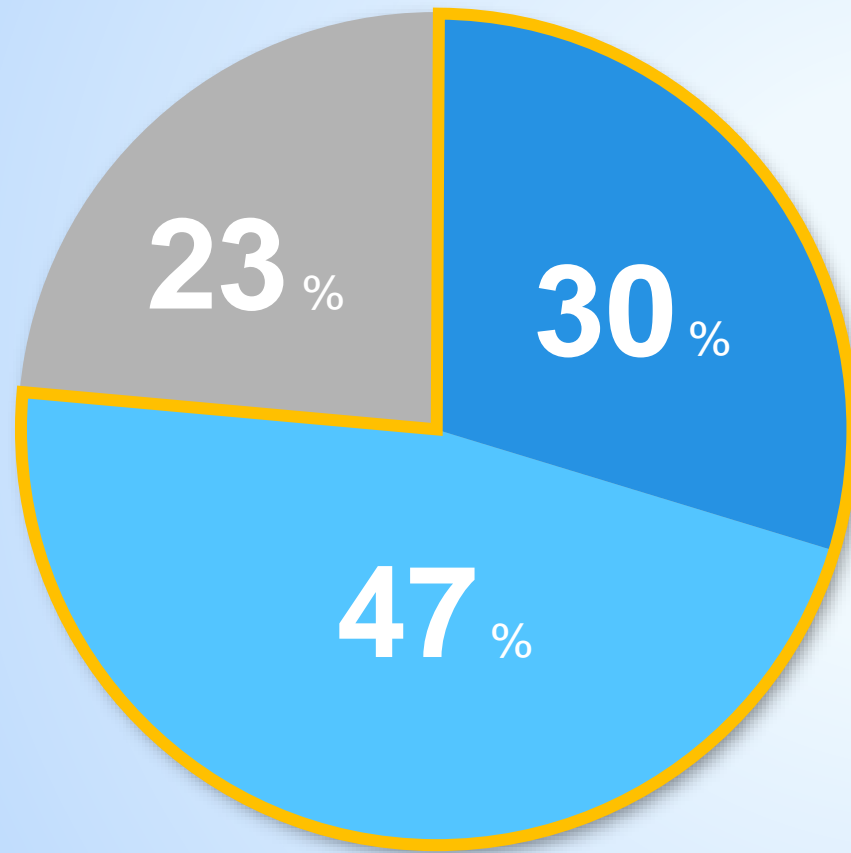
■ ややそう思う

■ どちらとも言えない

■ そう思わない

■ まったくそう思わない

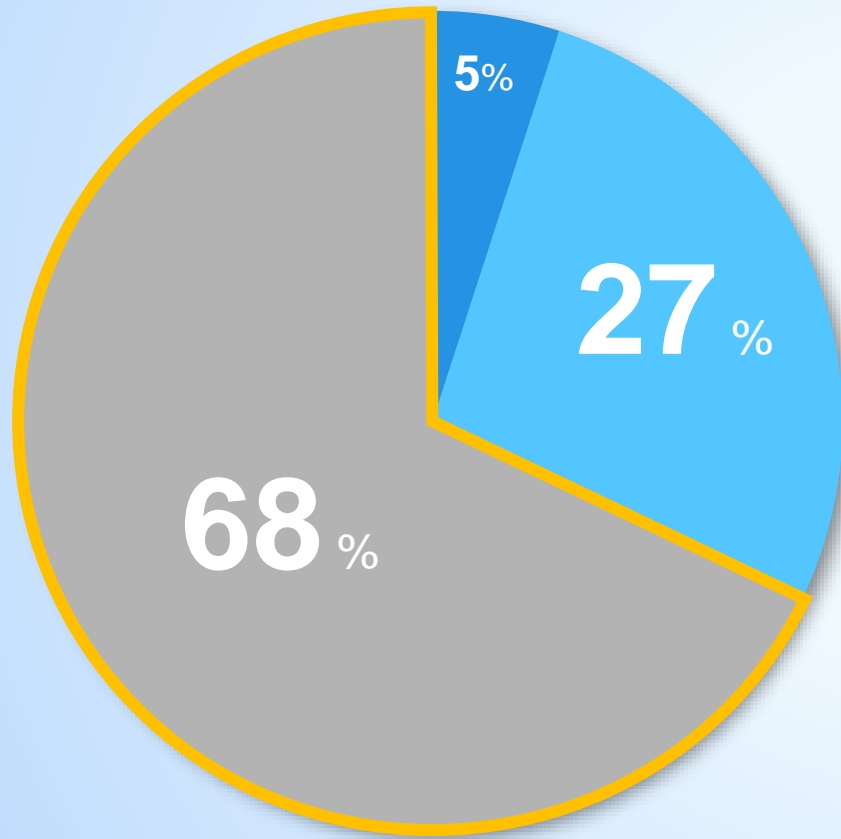
### Q3. 日本人女性にもっとも多いがんが、乳がんであることを知っていますか。



全体の8割弱が  
日本人女性にもっとも多いがんが  
乳がんであることを知っている。

- よく知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

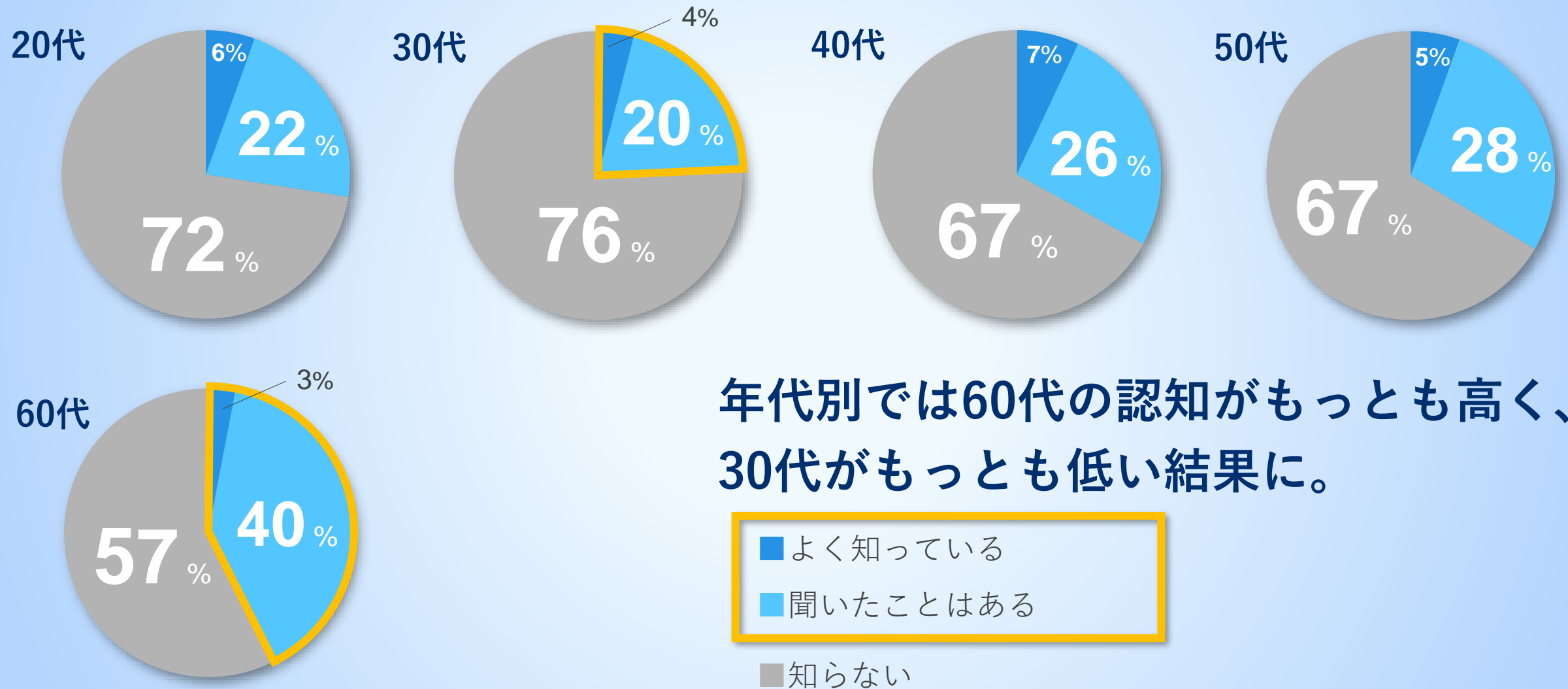
## Q5. 「遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）」を知っていますか。



7割弱が  
「遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)」  
を知らない。

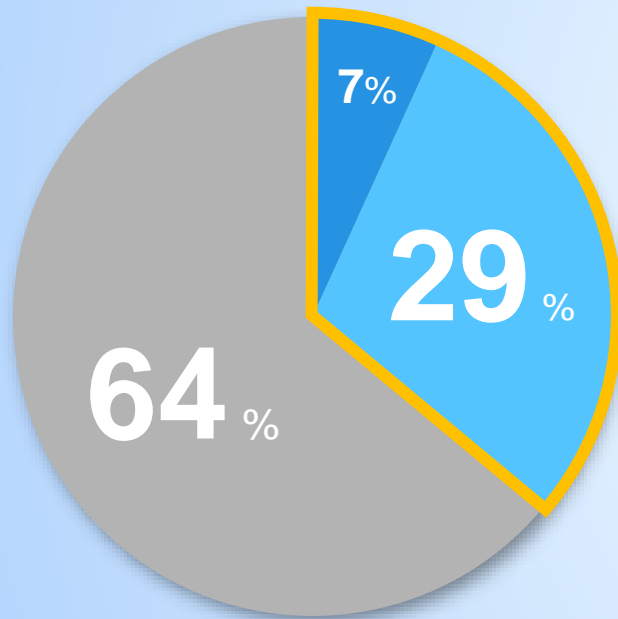
- よく知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

# Q5. 「遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）」を知っていますか。

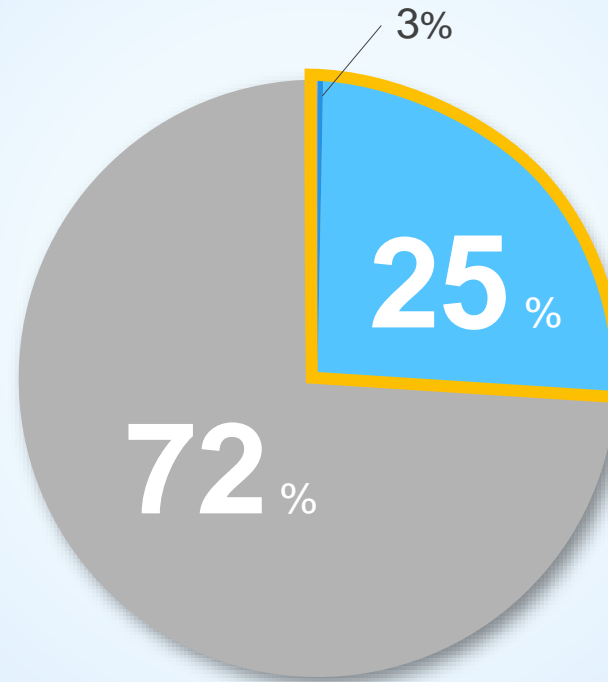


## Q5. 「遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）」を知っていますか。

家族や近親者に  
がんになった方がいる



家族や近親者に  
がんになった方がいない



家族や近親者に  
がんになった方が  
いるほうが認知が高い。

■ よく知っている

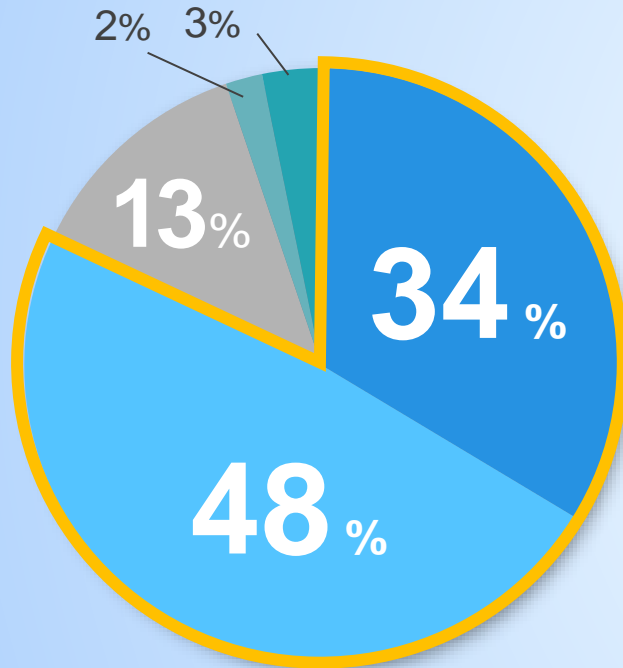
■ 聞いたことはある

■ 知らない

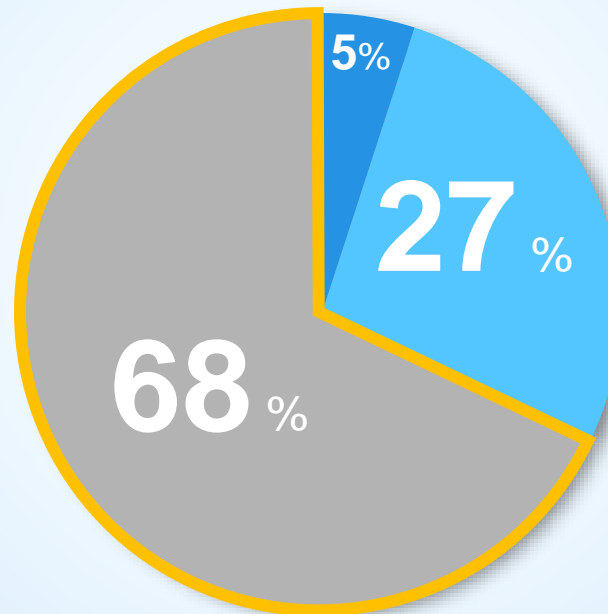


# Q5. 「遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）」を知っていますか。

Q2. 乳がんを身近な病気だと思いますか。



Q5. 「遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)」を知っていますか。



Q2とQ5の比較では、乳がんは8割強が身近な病気だと思うほど知られているが、「遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)」は7割弱が知らないという結果に。

■ とてもそう思う  
■ ややそう思う

■ どちらとも言えない  
■ そう思わない  
■ まったくそう思わない

■ よく知っている  
■ 聞いたことはある

■ 知らない


# 「遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）」とは


- 「遺伝性乳がん卵巣がん」は英語の頭文字をとって HBOC（**H**ereditary **B**reast and **O**varian **C**ancer）とも呼ばれる。
  - 生まれ持った遺伝子の変化により、乳がんや卵巣がんなどの発症リスクが高まる体質。
  - 病院で医師や遺伝カウンセラーと相談して、遺伝子検査を受けることで診断される。
  - HBOCと診断された場合は、がんの発症リスクを減らすために乳房の切除や卵巣の摘出などのリスク低減手術を受けることを検討できる。
  - 遺伝子検査や治療は、一定の条件を満たすと保険適用となる。
- ※HBOCと診断されても、必ず乳がんなどを発症するものではない。



## 正しく知りたい！ 遺伝性乳がん 卵巣がん

遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）のことを正しく知って、  
みなさんの不安や疑問が少しでも解消できるように。

このサイトでは、HBOCの特徴やリスクから  
遺伝子検査、治療（保険診療）、手術後の生活まで、  
知りたい情報をわかりやすくご紹介します。  
ご心配な方は セルフチェックシート  もご利用ください。



監修：がん研有明病院  
臨床遺伝医療部 部長 植木 有紗 先生

正しく知りたいHBOC

検索

## Q6. HBOCについて、知っている項目すべてにチェックをつけてください。 (いくつでも)

遺伝子の変化は親から子へ受け継がれる可能性がある

23%

乳がんや卵巣がんなどの原因のひとつである

16%

生まれつきの遺伝子の変化が原因となる体質である

15%

若い年齢で乳がんなどを発症しやすい特徴がある

13%

遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）の方の血縁者は  
がんを発症している方が多い可能性がある

12%

遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）と診断されても  
必ず乳がんなどを発症するものではない

8%

遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）の場合  
男性でも乳がんのリスクが高まることもある

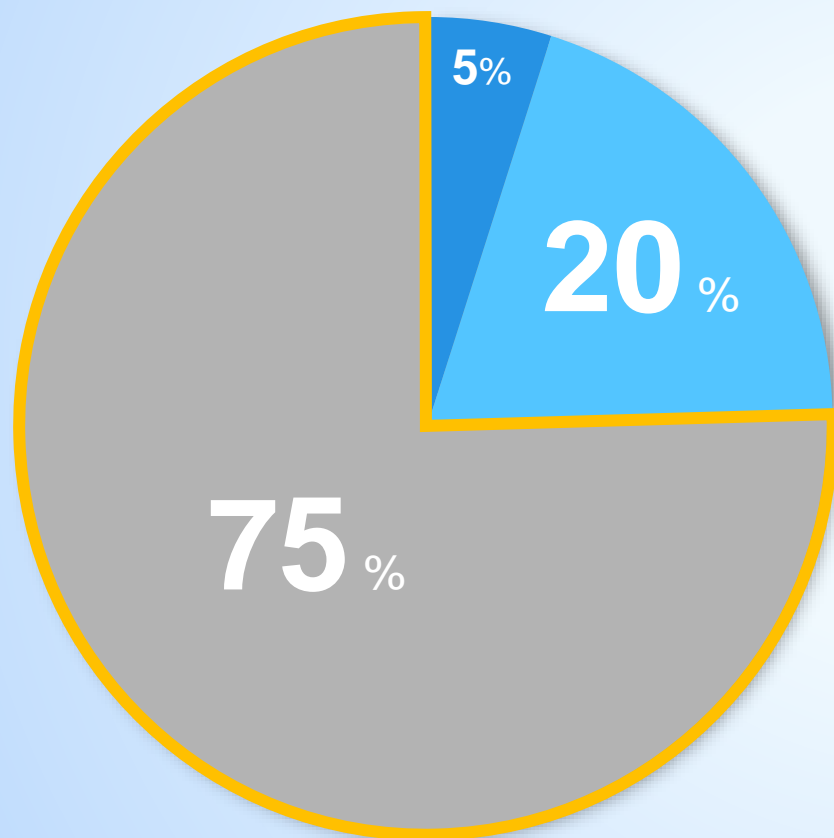
7%

この中に知っていることはない

62%

6割強がHBOCについて  
知っていることはない  
と回答。

## Q7. HBOCは、医療機関で遺伝子検査を受けて診断されることを知っていますか。

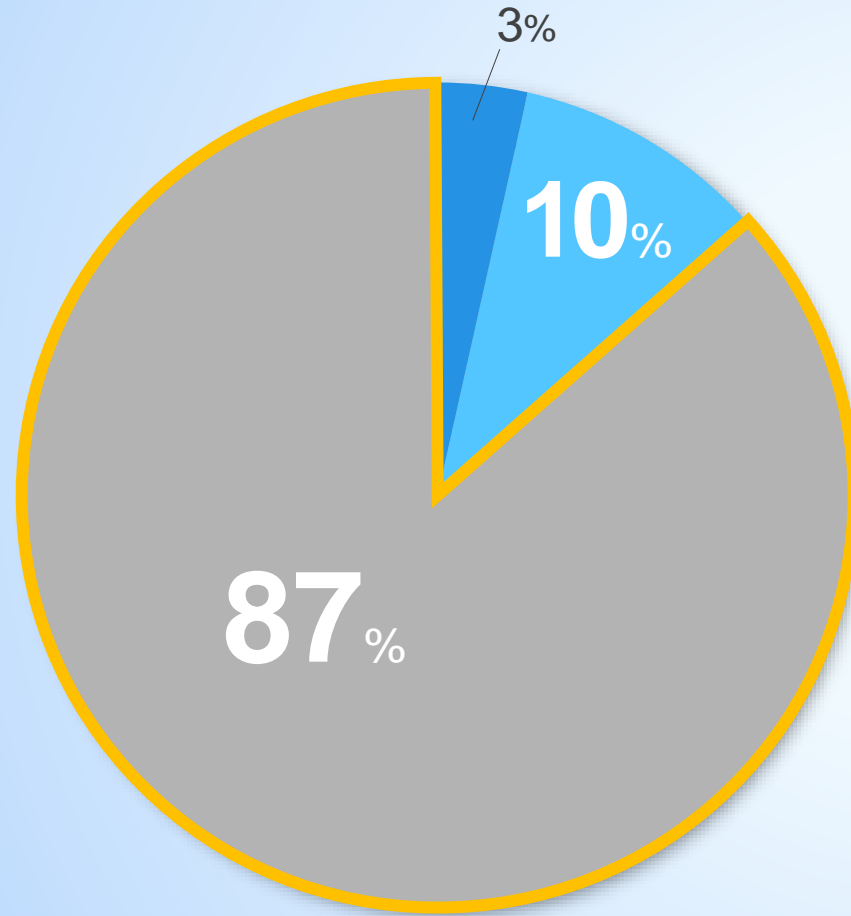


8割弱が医療機関で  
遺伝子検査を受けて  
診断されることを知らない。

- よく知っている
- 聞いたことはある
- 知らない



## Q8. 医療機関で行うHBOCの遺伝子検査は、 一定条件を満たすと保険適用になることを知っていますか。



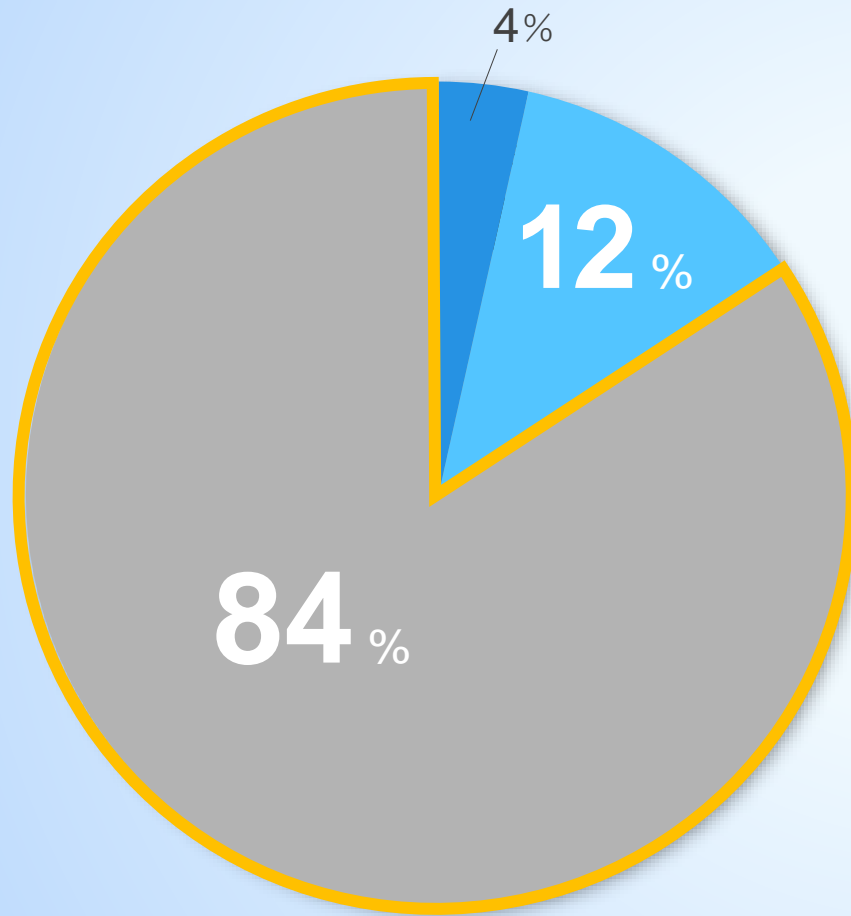
**9割弱が  
医療機関の遺伝子検査が  
保険適用になることを知らない。**

■ よく知っている

■ 聞いたことはある

■ 知らない

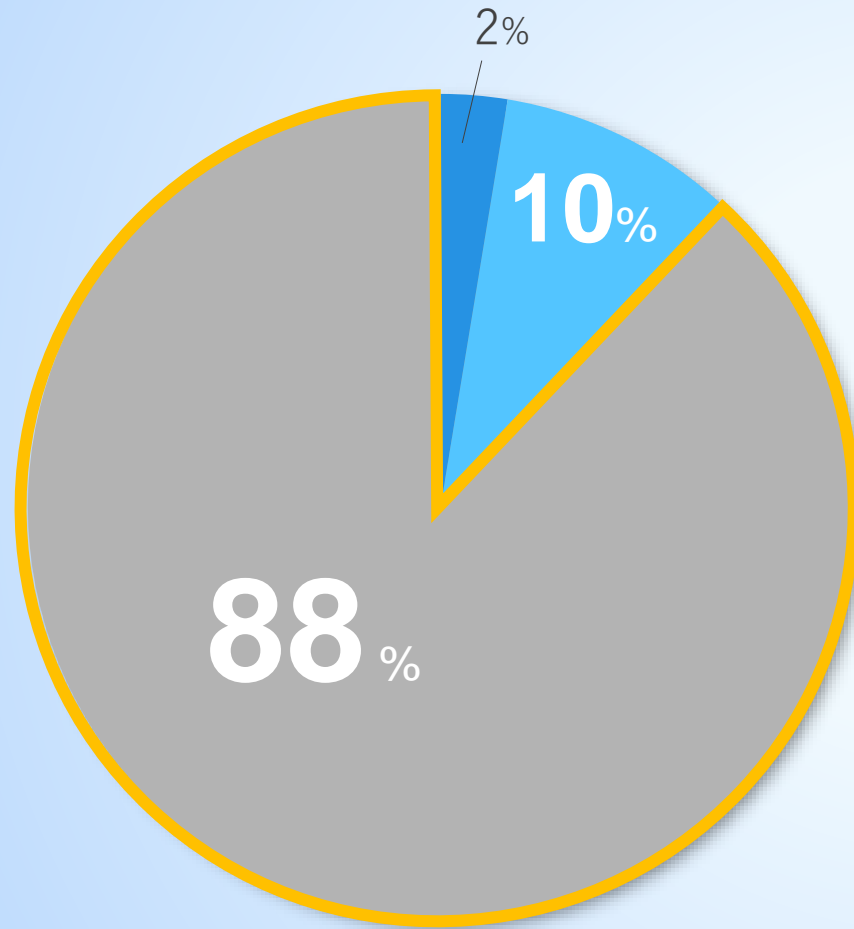
# Q9. HBOCと診断された場合、予防的に乳房の切除や卵巣の摘出を行う リスク低減手術を保険適用で受けられることを知っていますか。



**8割強が  
リスク低減手術を保険適用で  
受けられることを知らない。**

- よく知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

# Q10. HBOCの可能性が考えられる場合、医師や専門知識を持った遺伝カウンセラーに相談できる遺伝カウンセリングを受けられることを知っていますか。

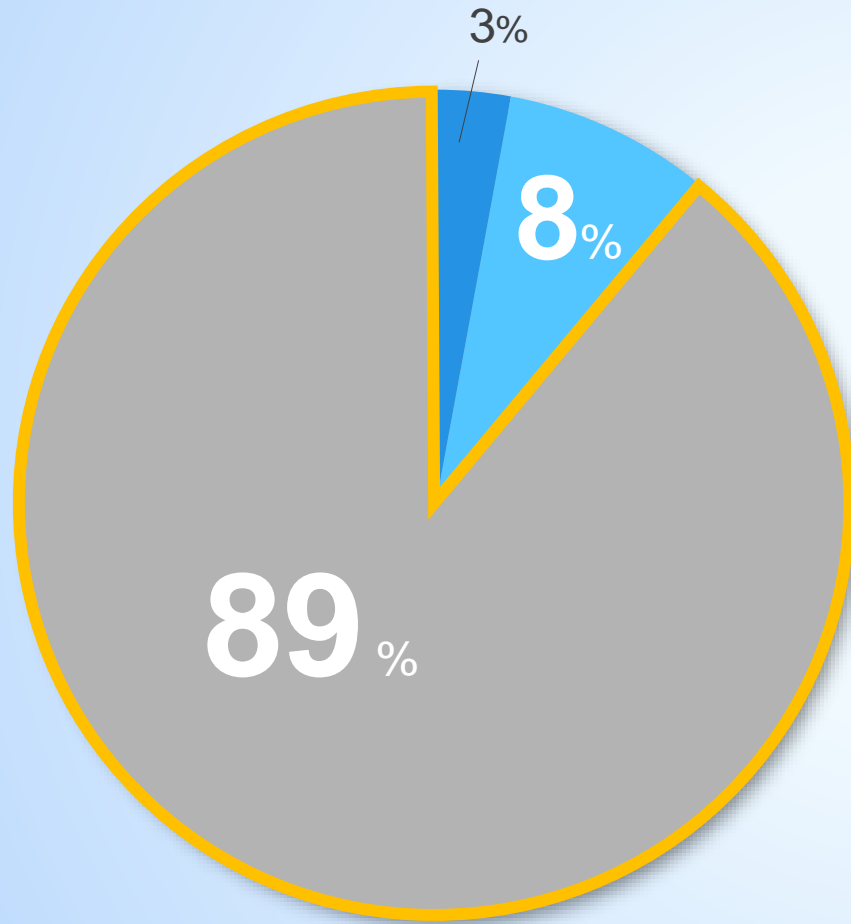


**9割弱が  
医師や遺伝カウンセラーに  
相談できる遺伝カウンセリングを  
受けられることを知らない。**

- よく知っている
- 聞いたことはある
- 知らない



# Q11. 遺伝カウンセリングは、 HBOCの方のご家族も受けられることを知っていますか。



**9割弱が  
HBOCの方のご家族も  
遺伝カウンセリングを  
受けられることを知らない。**

- よく知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

## Q12. 遺伝子検査に対して、どのようなイメージを持っていますか？（いくつでも）

生まれてくるこどもの病気発症の可能性を調べるために使われる

生活習慣病などの健康リスクを知るために使われる  
自宅で唾液などを採取することで検査を受けられる

医療機関で、がんの診断や治療のために使われる

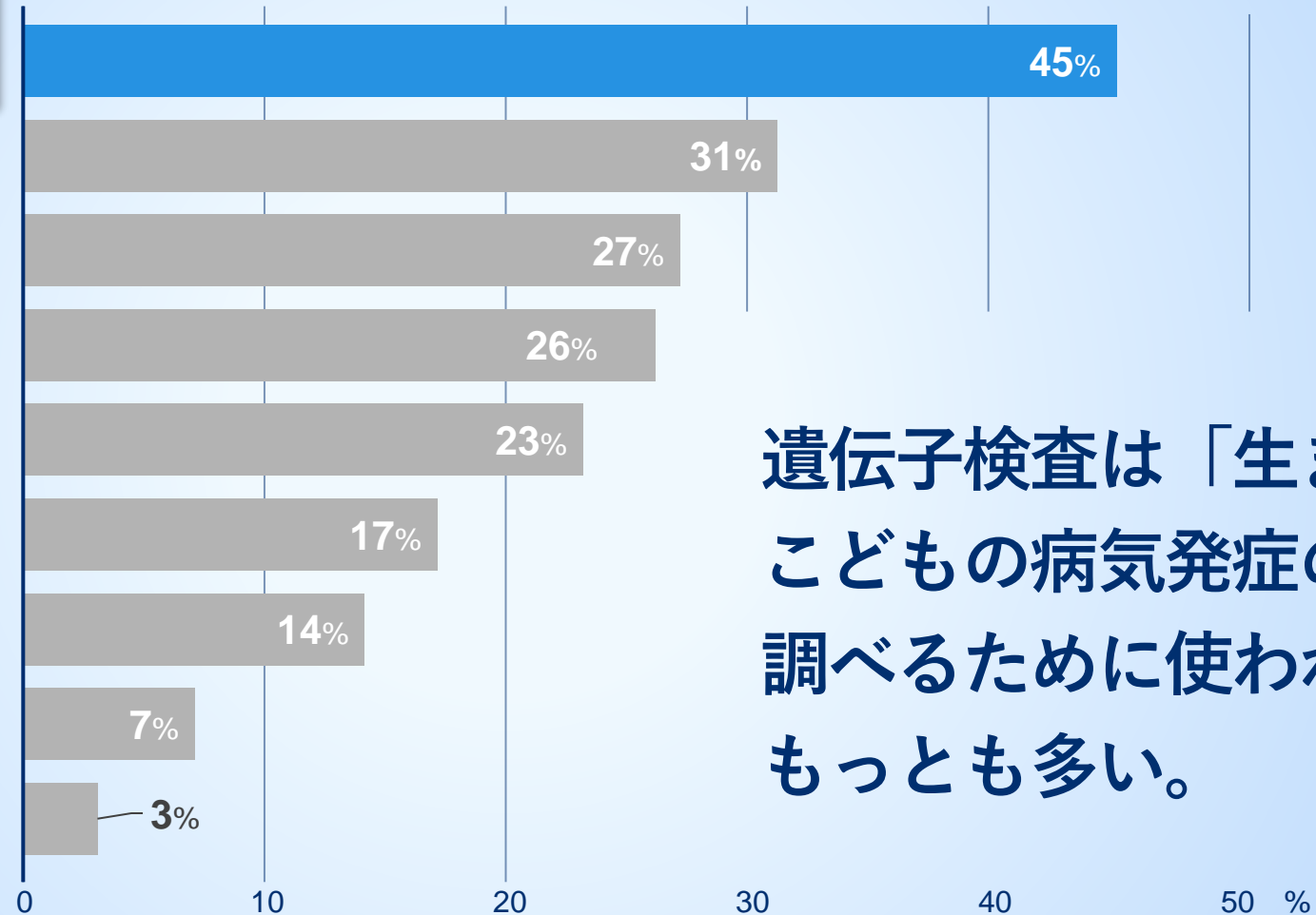
警察の鑑識で使われる

検査結果が信頼できる

美容医療・ダイエット目的で使われる

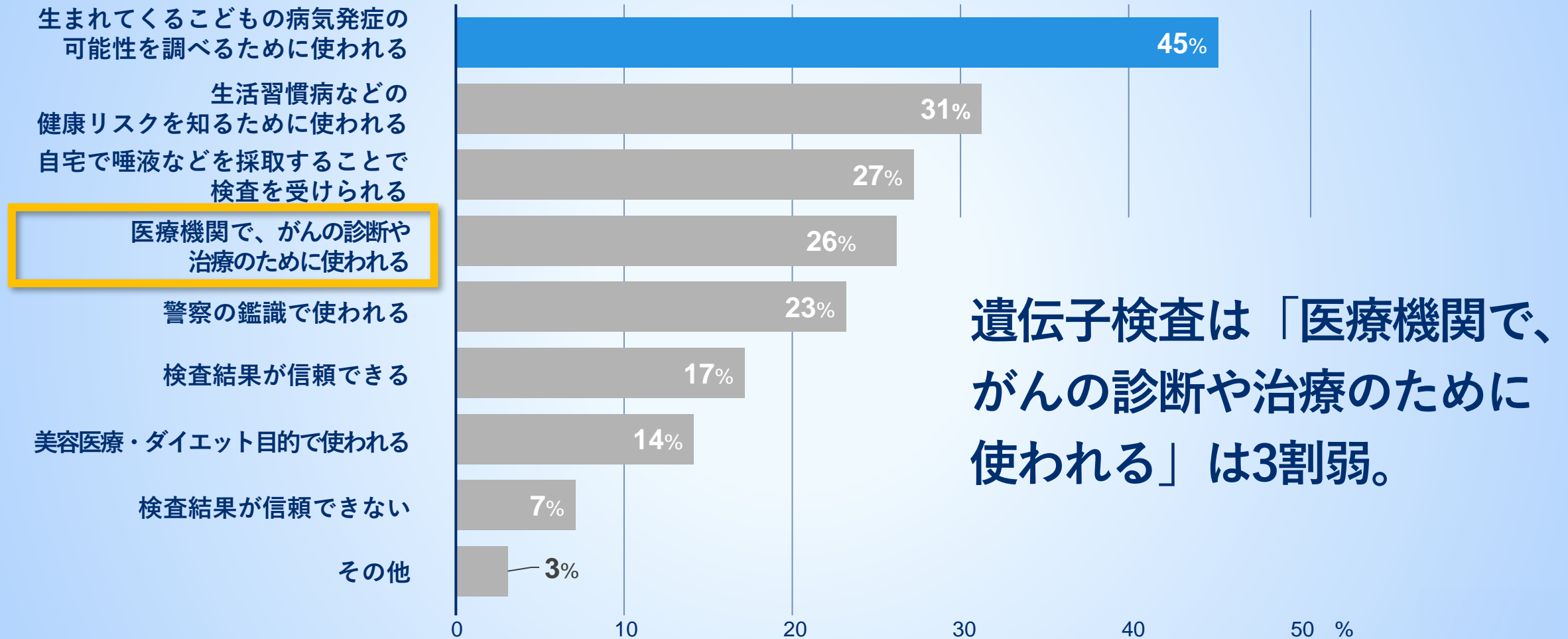
検査結果が信頼できない

その他

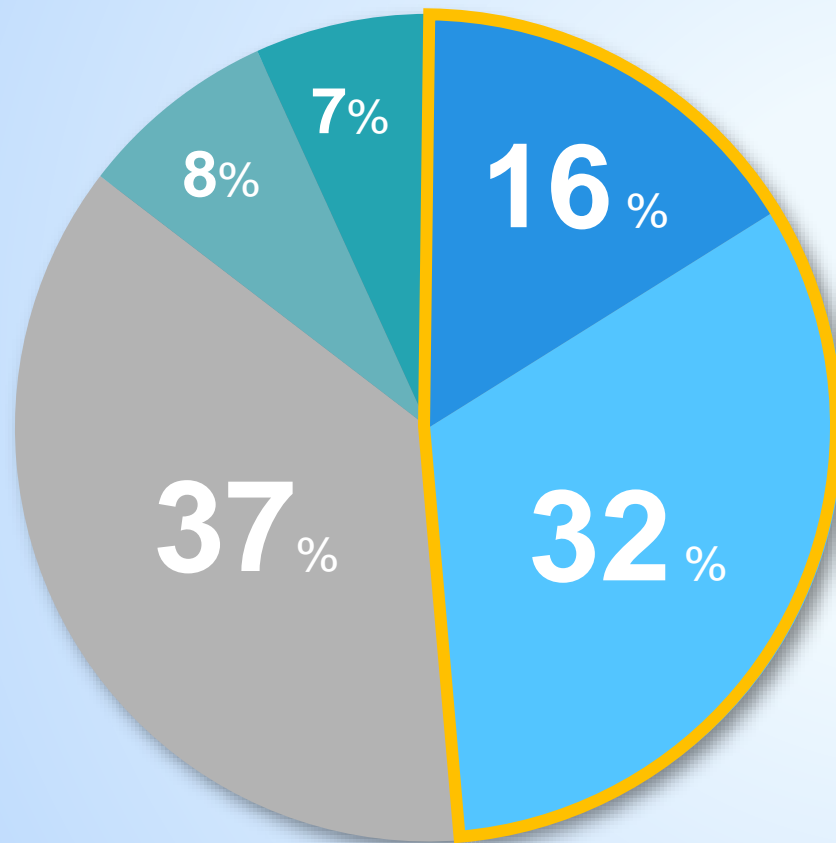


遺伝子検査は「生まれてくるこどもの病気発症の可能性を調べるために使われる」がもっとも多い。

## Q12. 遺伝子検査に対して、どのようなイメージを持っていますか？ (いくつでも)



# Q13. ご自身の血縁者がHBOCと診断された場合、 HBOCの遺伝子検査を受けてみたいと思いますか？



自身の血縁者が  
HBOCと診断された場合でも、  
遺伝子検査を受けてみたい  
と思う人は半数以下。

■ とてもそう思う

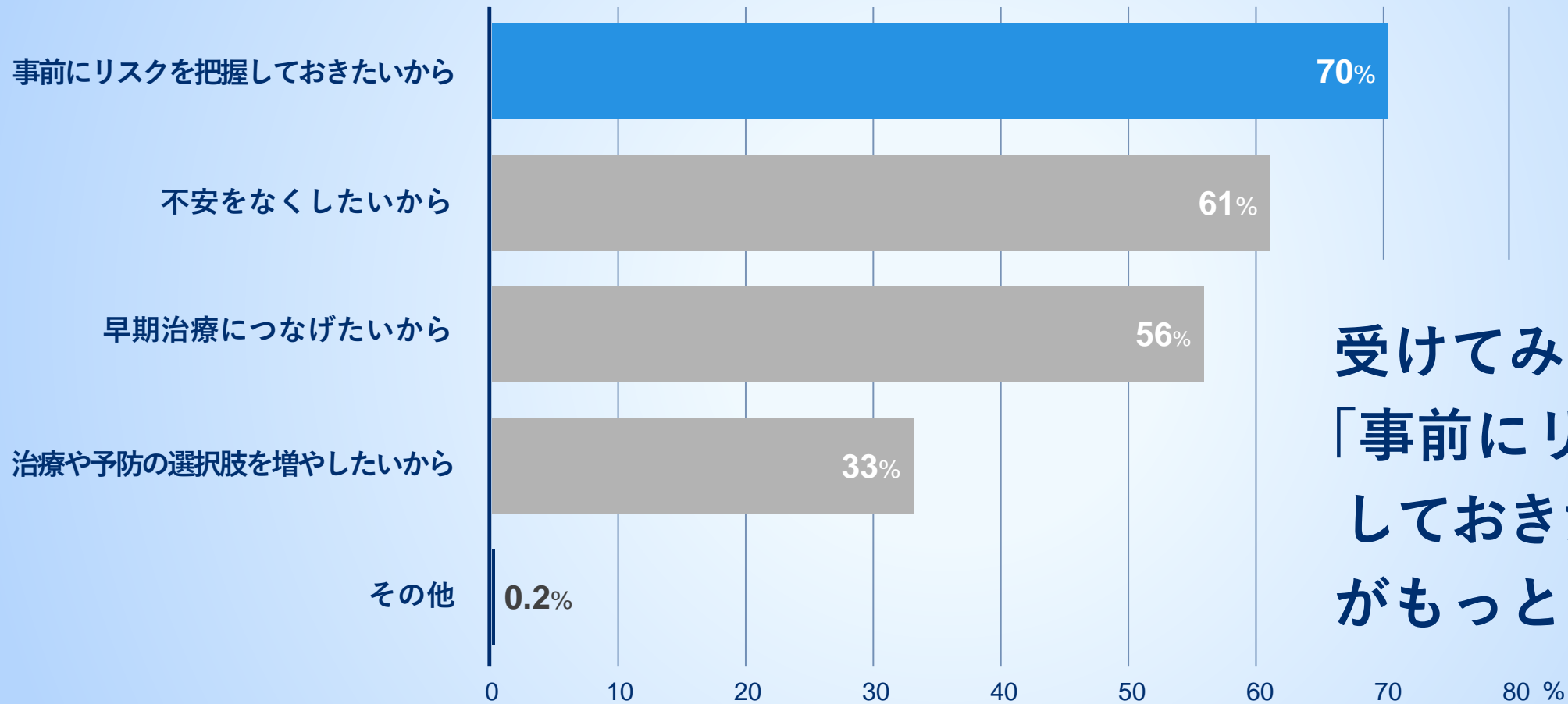
■ ややそう思う

■ どちらとも言えない

■ そう思わない

■ まったくそう思わない

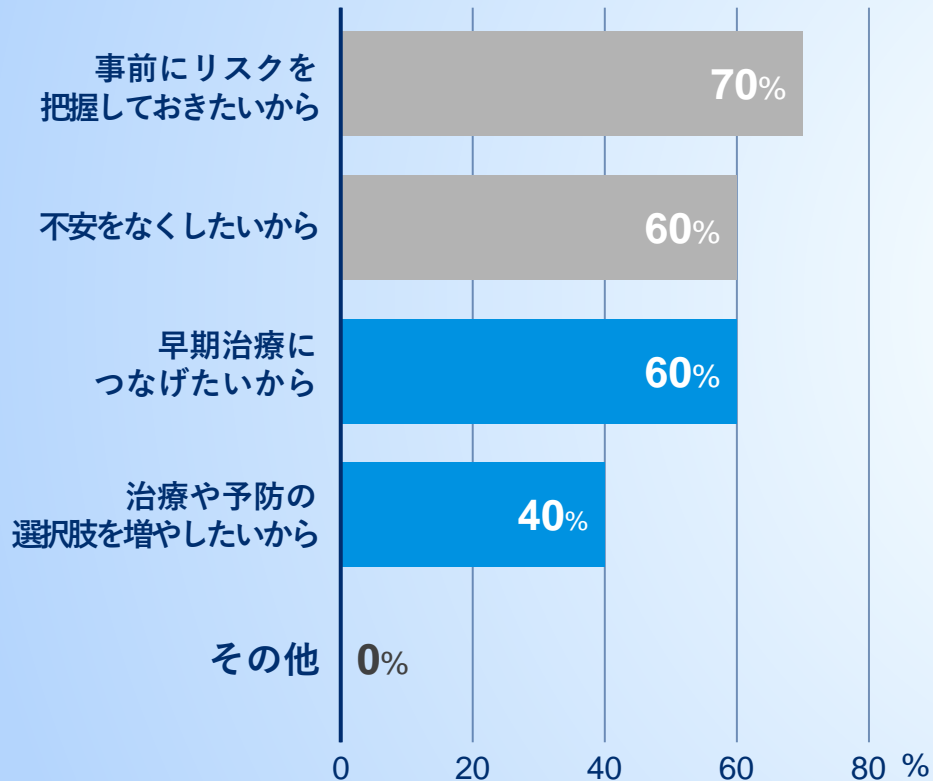
# Q14. ご自身の血縁者がHBOCと診断された場合、HBOCの遺伝子検査を受けてみたいと思う理由を教えてください。 (Q13で、とてもそう思う、そう思うと答えた方。いくつでも)



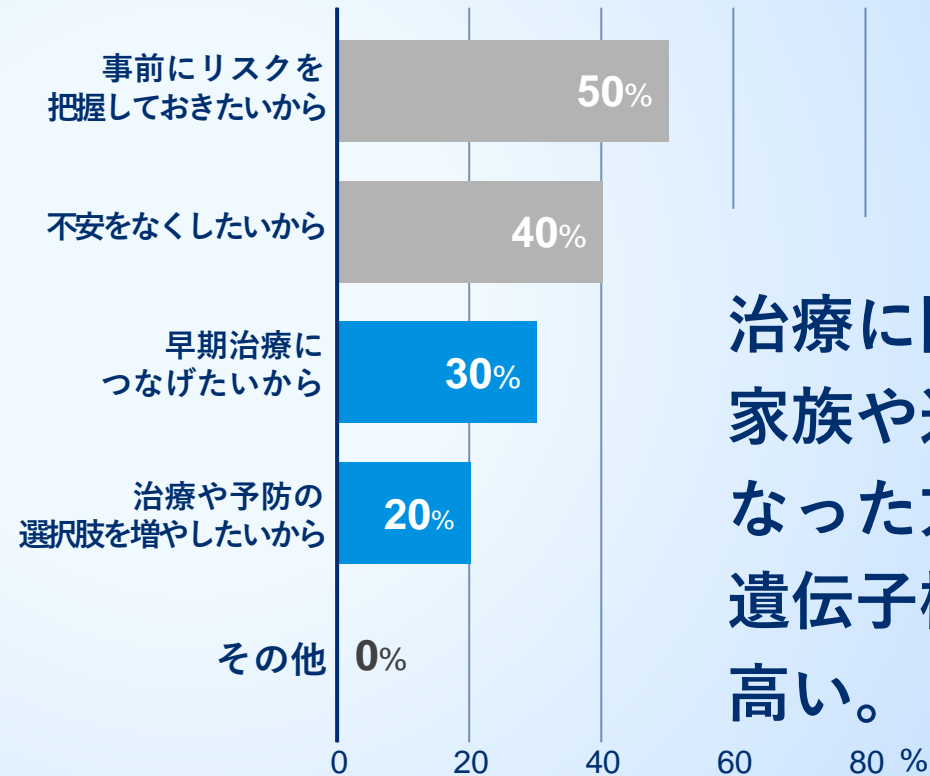
受けてみたい理由は  
「事前にリスクを把握  
しておきたいから」  
がもっとも多い。

# Q14. ご自身の血縁者がHBOCと診断された場合、HBOCの遺伝子検査を受けてみたいと思う理由を教えてください。 (Q13で、とてもそう思う、そう思うと答えた方。いくつでも)

## 家族や近親者に がんになった方がいる



## 家族や近親者に がんになった方がいない



治療に関する回答では、  
家族や近親者にがんにな  
った方がいるほうが  
遺伝子検査の受検意向が  
高い。



# Q15. HBOCや遺伝子検査について自由にお書きください。

## ■遺伝子検査の受検意向について

- ・メンタル的にも治療の選択にも知っておくことで対策がたてられる。（家族や近親者ががんになった方がいる 40代）
- ・遺伝性でも乳がんでも卵巣がんでも、そんな医学的進歩のある遺伝子検査があるのなら、機会があればうけたい。  
（家族や近親者ががんになった方がいる 30代）
- ・遺伝子検査をすることによって不安が増えるかもしれないが、  
早期発見につながるのであれば受けたほうが良いのかと思う。（家族や近親者ががんになった方がいる 50代）

## ■もっと知りたい、広めてほしいといった声

- ・一般人が保険適用内で安心して早期発見早期解決を目指すために取り入れられるものなのか。  
また、家族に他のがんでも発症したものが多く場合には受診することが出来るのか。  
もっと病院や電車内などの掲示やかかりつけ医でも目にできるようにしてほしいです。  
（家族や近親者ががんになった方がいる 50代）
- ・認知度が低いと思うのでもっと広く知られるようにしてもらえたらいいと思う。  
相談窓口や費用、検査方法や期間などがぱっとわかると良いと思う。（家族や近親者ががんになった方がいない 50代）

# 遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）実態調査のまとめ

- 乳がんは身近な病気だと思うほど知られているが、HBOCの認知・理解はとても低い。
- 遺伝子検査やリスク低減手術は保険適用になることが知られていない。
- HBOCの方もご家族も遺伝カウンセリングを受けられることが知られていない。
- 血縁者がHBOCと診断された場合でも、遺伝子検査を受けてみたいと思う人は半数以下。
- 家族や近親者にがんになった方がいる場合にHBOCを自分ごととして捉えるが、家族や近親者にがんになった方がいない場合は関心が低い。



# Thank you